

ユダマグスク



ユダマグスク

ユダマグスクは平良集落の北西、標高約100mの琉球石灰岩丘陵地にあり、北は貯水タンクのある辺りから、南は平良グスクに接しています。

ユダマグスクの西側にある深底原の盆地を取り囲むように丘陵が突堤状に連なっており、その丘陵には^{とかしき}渡嘉敷グスク、^{とかしきくしばるいせきぐん}渡嘉敷後原遺跡群、ユダマグスク、平良グスク、^{たかみねふるじまいせき}高嶺古島遺跡等の遺跡が立地しています。

ユダマグスクのユダマは「世玉=よかはら、曲玉のこと転じて宝・黄金の意」に由来するものと思われませんがその語意については定かではありません。また、このグスクは按司の居城としての「城」ではなく、古くから「墓所」として利用された所と思われ、仲松弥秀先生が言われる墓所・聖域としてのグスクと思われます。

グスク内にはシー（岩）を利用した半洞穴の墓があり、周りを自然石で囲み、中には門口が設えられている墓もあります。このグスクの一带は市内でも自然と遺跡が残されている地域であり、後世のためにも大切にしたいものです。

